



平成 26 年 5 月 1 日

各 位

会 社 名 浜 井 産 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 武 藤 公 明
(コード： 6131、東証第二部)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 担 当 山 畑 喜 義
(TEL. 03-3491-0131)

特別損失の計上並びに業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 3 月期決算において、下記の通り特別損失を計上するとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 11 月 1 日に公表した業績予想及び平成 25 年 5 月 15 日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社が保有する不動産等の固定資産を対象に、回収可能性を検討した結果、減損損失 678 百万円を計上することといたしました。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 5,030	百万円 85	百万円 55	百万円 30	円 銭 0.92
今 回 修 正 予 想 (B)	4,454	△118	△153	△874	△26.96
増 減 額 (B-A)	△576	△203	△208	△904	
増 減 率 (%)	△11.5	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	—	—	—	—	—

(2) 平成 26 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 5,000	百万円 80	百万円 50	百万円 26	円 銭 0.80
今 回 修 正 予 想 (B)	4,435	△108	△139	△863	△26.61
増 減 額 (B-A)	△565	△188	△189	△889	
増 減 率 (%)	△11.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	3,118	△510	△512	△901	△27.78

(3) 修正の理由

当社グループの主力製品でありますラップ盤につきまして、スマートフォン向に大口の受注を獲得したものの、平成26年3月期におけるその売上は一部に留まり、大半が今期の売上となる見込みとなりました。

これにより、平成26年3月期の業績に反映させることができず、売上高未達を要因に営業損失を計上いたしました。

また、減損損失の追加により、特別損失が増加いたしました。

なお、スマートフォン向の大口受注は、今後も相当な台数が継続して見込まれるため、早急に生産能力の増強を図り、既に受注済の物件と併せ、今期の確実な出荷・売上を目指してまいります。

また、自動二輪及び四輪車向歯車加工用ホブ盤の拡販も、今後さらに積極的に取り組み、一日も早い業績の黒字転換を図ってまいります。

3. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成25年5月15日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成25年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

修正の理由

上記の業績予想の修正に伴い、本日開催の取締役会決議により、誠に遺憾ではございますが、期末配当金につきましては見送りとさせていただきます。

なお、現在実施している役員報酬の減額を4月以降も継続して実施するとともに、役員賞与につきましても見送りいたします。

業績の回復に全社を挙げて取り組み、早期の復配を目指してまいります。

(注) 本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、当社は、平成26年3月期より、連結財務諸表を作成しているため、「平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正」の前期実績については記載しておりません。

以 上